

伝熱学の参考図書

伝熱学がキライ！

工学部の機械工学専攻の人なら伝熱学は必修科目です。しかし、伝熱学は目に見えない現象を扱う科目なので、難しいと思う人は多いのではないかと思います。大学指定の JSMC の伝熱学のテキストで理解を深めようとしても、知識の羅列といった印象が強く、わかりにくいかと思います（私がそうでした）。試験対策で過去問を集めて勉強したとしても、現象の理解ができていなかったら、本試でちょっと問題の条件を変えられただけで何も手が付けられなくなってしまいます（私がそうでした）。そこで、伝熱学の現象理解を助けるような参考図書を紹介したいと思います。

お勧めのキーワード

伝熱
伝熱学
冷凍 空調 工学

参考図書

伝熱学の理解を助ける図書を紹介します。

- ・伝熱概論 / 甲藤好郎 著
出版社：東京株式会社養賢堂 出版年：1964 年
ISBN：9784842501727
- ・伝熱概論 訂正版 / 甲藤好郎 著
出版社：東京株式会社養賢堂 出版年：1966 年
〈お勧めコメント〉
式の導出が丁寧に書かれています。また、相変化の内容が特に充実していると思います。個人的には伝熱学に関しての本はこれが一番お勧めです。
- ・伝熱工学 / 武山斌郎 著
出版社：丸善株式会社 出版年：1983 年
ISBN：9784621027639
〈お勧めコメント〉
図や写真が多いため現象のイメージをしやすくなると思います。
- ・伝熱学特論 / 甲藤好郎 著
出版社：東京株式会社養賢堂 出版年：1984 年
〈お勧めコメント〉
実験結果の図が多く含まれているので、論文チックで少しとっつきにくいかもしれませんが、院生などにはお勧めです。
- ・冷凍空調工学 / 関信弘 著
出版社：森北出版会社 出版年：1990 年
ISBN：9784627672109
〈お勧めコメント〉
熱力学や伝熱学の応用にあたる冷凍技術を理解するのに最適な 1 冊だと思います。これを読んだ上で環境問題について考えてみましょう！

最後に

本で調べるよりもネットで調べたほうがさっさと答えが出てきてコスパがいいような気がしますが、体系的な理解をするには、書籍による調べものが良いと思います。書籍の場合だと、内容の全範囲が1冊にまとまっているため、ストーリー立てての理解がしやすいと思うからです。

難しい専門書を読むことも、ある意味学生の間にはできないことだと思うので、そこで少しでもなるほどと思ったりしたら、ラッキーなのではないかと思います。